2026 年 10 月 19日
福岡県立小倉高等学校

創立 120 年の歴史を地域と未来へ

「明陵アーカイブズ事業」として「合同会社 AMANE」、「有限会社 時の広告社」と始動
～考古学部の古墳発掘や野球部夏2連覇の軌跡など、文武の至宝を地域へ発信～

福岡県立小倉高等学校（所在地：北九州市、校長：中島一生）は、創立 120 周年の節目を迎えるにあたり、校史資料室に所蔵されている明治期からの貴重な史料の整理・保存および活用を行う「明陵アーカイブズ事業（歴史的資料整備事業）」を、合同会社 AMANE、有限会社 時の広告社の 2 社の協力を得て開始することといたしました。

本事業は、120 年にわたり地域とともに歩んできた本校の様々な記録と記憶を保存し、今後の教育活動や地域研究に役立てることを目的としています。学術的なノウハウとデジタル化技術を持つ合同会社 AMANE、および地域に根差した公益性の高い情報発信に強みを持つ広告デザイン会社の有限会社 時の広告社と連携することで、劣化が進む史料の保存とデジタルコンテンツ化をはかり、小倉高校同窓生、現役生だけでなく、地域の方々にとっても有益な情報発信・活用を目指します。

■ プロジェクト発足の背景と、眠っていた貴重な史料の数々

本校の校史資料室には、明治の創立当初から現在までの膨大な量の史料が保管されています。その中には、本校のみならず「地域の歴史と文化」を紐解く上で極めて価値の高い、以下のような史料が含まれています。

- ●本校考古学部による「猫塚古墳」をはじめとするいくつかの発掘調査資料：当時、生徒と顧問が自ら現地に赴き、学術的にも注目を集めた貴重な記録。
- ●野球部「夏の大会 2 連覇」の記録：地域を熱狂の渦に巻き込んだ当時の大会のスコアブック、応援風景の写真など、地域のスポーツ史としても貴重な記録。

これらの史料は経年劣化による破損の危機に瀕しており、分類や整理が急務となっていました。しかし、この事業には専門的なノウハウが不可欠です。そこで、民間企業 2 社の専門知識とスキルを掛け合わせることで、諸史料の価値を減ずることなく次世代へ引き継ぎ、地域の共有資産として再価値化することを目指しています。

■ 本事業の特徴と協力各社の役割

①学術的ノウハウに基づくデジタルコンテンツ化

学術的知見のもと、「合同会社 AMANE」が史料の精緻な分類と高精細なデジタルデータ化を担当。歴史的な価値を維持しつつ、将来的な研究や教育に耐えうるデジタルコンテン

ツとしてアーカイブを構築します。

②デザインの力による、わかりやすく、説得力のある情報発信

自治体や地域振興団体の広告デザインや情報発信・広報事業で実績のある「有限会社時の広告社」が、アーカイブ化された史料を魅力的なビジュアルや展示へとデザイン。小倉高校が所蔵する貴重な史料を、地域の方々や卒業生へ分かりやすく発信します。

③生徒による「探究活動」との連携

整備プロセスの一部を、探究学習などの授業と連携。生徒が自校や地域の歴史に直接触れる、生きた教育機会を創出します。

【本件に関するお問い合わせ先】
福岡県立小倉高等学校（担当:校史資料室長 宮武 克行）
所在地 ： 北九州市小倉北区愛宕2丁目8−1
TEL ： 093-592-3901
E-mail ： info@kokura.fku.ed.jp
学校公式 URL ： https://kokura.fku.ed.jp/

【協力会社概要】

合同会社 AMANE
所在地 ： 金沢市大額 2-44 N3 ビル 203 号室
代表者 ： 代表社員 堀井 洋
事業内容 ： 教育機関や自治体とも連携した学術資料の調査・研究・整理と、その活用・発信のためのアーカイブ、デジタルコンテンツの企画・制作事業

有限会社 時の広告社
所在地 ： 茨城県水戸市見川5丁目302−1
代表者 ： 代表取締役社長 小松和広
事業内容 ： グラフィックデザイン、ブランディング。また自治体や地域振興団体をはじめとする、公益性の高い組織の広報・情報発信支援を数多く手がけている。紙媒体とデジタル双方における企画、デザイン、制作までを一貫して行う。